

熱田区障害者自立支援連絡協議会 地域だより

平成31年3月吉日発行

〈全体会〉

◆第3回全体会

日にち 平成31年3月11日（月）

参加者 22名

各部会から一年間の取り組みおよび基幹センターから「熱田区障害者自立支援連絡協議会の課題と今後について」の報告をし、最後に参加者の自己紹介を行いました。

【平成30年度熱田区障害者自立支援連絡協議会の取り組み】

今年度、部会は「一貫した支援を考えよう部会」と「相談支援部会」の二部会とし、各イベントは実行委員を募り活動する取り組みを行いました。「一貫した支援を考えよう部会」において課題整理を行うことで、現在の課題と課題への対応策として何をやるかを整理でき、また、イベントは実行委員で集まり検討していく中で、ブラッシュアップされたものになった点を共有することができました。

◎課題

- ①人材不足と福祉従業者の地位向上
- ②18歳以降の支援について（就労・余暇含む）
- ③防災に関して
- ④生と性に関して



〈一貫した支援を考えよう部会〉

部会会議

日にち 平成30年11月5日（月）

参加者 24名

7月の部会において「18歳以降の日中活動後の過ごし方」という課題が挙げられたことを受け、部会会議前に放課後等デイサービスおよび日中活動の事業所、保護者にアンケートを実施し、45名の保護者と8事業所から回答を得られました。部会では「就職できるかどうか、本人にあった事業所が見つかるかどうか」「余暇の過ごし方について」「卒業後の就職先も含めた人間関係」等の家族が持つ様々な不安に対し4つのグループに分かれ、話し合いを行いました。話し合いでは「福祉サービスの周知」「余暇活動で使える制度の紹介」「事業所の特性を活かせるようアンケート内容をカテゴリー化し、それぞれに詳しい事業所で話し合いを深める」等の意見が出ました。今回の取り組みを行ったことで、家族が持っている不安を参加者が共有し、それに対する今後における手立ては何かについて深く考えることができました。

見学会

日にち 平成31年1月22日(火)
会場 社会福祉法人喜多会 特別養護老人ホーム喜多乃郷
参加者 8名

共生社会と言われている昨今、高齢者になったらどんなサービスがあるのか、障害高齢者がどのような生活を過ごすことになるかを知りたい!という思いから、今年度は高齢者施設見学を計画しました。喜多乃郷では一人ひとりにとって安らぎの家(住まい)になるようユニットケア※を実施しており(全室個室)、各階の玄関ホールは季節感を大切に飾り付けされ、入ったときから安らぎを感じる空間になっていたことが印象的でした。

※ユニットケア

自宅に近い環境の介護施設において、他の入居者や介護スタッフと共同生活をしながら、入居者一人ひとりの個性や生活リズムに応じて暮らしていけるようにサポートする介護手法。ユニットケアの最大の特徴は、入居者個人のプライバシーが守られる個室と、他の入居者や介護スタッフと交流するための居間(共同生活室)があること。入居者10人前後を一つの「ユニット」として位置づけている。



児童連絡会

<あつたはらぺこ展覧会>

日にち 平成30年11月8日(木)~14日(水)
会場 イオンモール熱田1階専門店街通路
参加事業所 放課後等デイサービス11事業所
作品内容 絵画やひょうたん、小麦粘土等の工作物 約100点



作品展に訪れた多くの方に作品を観ていただくことができ、出品されたお子さんやご家族の方々にも喜んでいただくことができました。会場に設置した感想ノートには「色使い!創造力!ステキです」「どこも個性があっていい!見ていて楽しい!」「みんなが頑張っている姿が目につかびます。またいろいろな作品を見せてくださいね」等のご意見や感想がたくさん寄せられ、来年度の開催も検討することとなりました。



<研修会>

テーマ 「障害を抱える子供たちの思春期、性について」
講師 日本福祉大学子ども発達学部心理臨床学科准教授 伊藤修毅氏
日にち 平成31年2月25日(月)
参加者 放課後等デイサービス、特定相談事業所の職員や相談員30名

講師より、障害があっても性的発達は権利であり、性的な行為に対して否定するのではなく、発達の段階に応じた性教育が大切というお話がありました。

参加者からは、「自分たちも性について学んでいかなければいけないと思った。」「『対処する』という意識を捨てましょうという言葉聞いて、一人の人間として向き合うことを大切にしないといけないと感じた。」等のたくさんの感想や、「実際の事例を基に対応方法について学びたい」「距離感の見きわめ方や放課後デイでの性教育の方法について学びたい」等のご意見が寄せられました。



あった○連絡会

☆あった○製品カタログ完成！

あった○をより多くの方に知っていただく機会として、熱田区役所各課向けにカタログを作成しました。各課が実施するイベントなどの景品として授産製品を活用してもらい、景品を手にとった地域の方に製品を通じて、障害福祉の啓発の第一歩になればと思います。

☆熱田区地域包括ケア講演会にてあった○販売実施！



＜熱田区地域包括ケア講演会＞

日にち 平成31年2月25日（月）

会場 熱田区役所講堂

参加事業所 5事業所

今回、熱田区地域包括ケア推進会議主催のイベントに初めて“あった○”として参加し、多くのお客様にお越しいただきました。今後もイオン千年店や区役所といった定期販売だけでなく、障害福祉以外のイベントにも積極的に参加し、あった○の周知や啓発に力を入れていきたいと考えています。

＜相談支援部会＞

事例検討会

テーマ 「利用者のヘルパーへの対応について」

日にち 平成30年12月13日（木）

参加者 介護支援事業所、特定相談事業所等の職員や相談支援専門員 18名

2つのグループに分かれ、事例検討および事業所における困りごとについて、意見交換をしました。事業所での困りごとに対する意見交換では、移動支援時に法人車両での移動を暗に要求されている（「他の所はやってくれるのに」）など、自身の事業所での対応や今後の支援に活かせるような話し合いができました。また、制度の疑問等事前に募った質問に対し、名古屋市障害者支援課認定支払係職員より回答をもらいました。質問に対する具体的な意見は難しいようでしたが、現場の状況を行政に知ってもらう良い機会の一つとなりました。

相談支援事業所向け四区合同学習会

テーマ 「地域移行支援について 支援方法、計画書の書き方を学ぶ

～精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み～

講師 蒲郡市障がい者支援センター、愛知県精神保健福祉士協会副会長 中川 学氏

日にち 平成31年2月19日（火）

参加者 相談支援専門員、精神保健福祉相談員 42名

地域移行支援制度の説明、サービス等利用計画、地域移行支援計画書の書き方について演習を行いました。演習では病院から提供された実際の事例を元に、地域移行について支援方法や計画書の作成方法を学びました。

※地域移行支援

施設に入所または長期間精神科に入院している方などに、住居の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談、障害福祉サービス事業所等への同行支援等を行います



<イベント開催について>

あったかあつた福祉フェスタ 2018 (10/28)

自立支援連絡協議会ブースにおいて、車いす体験とアイマスク体験を行いました。「車いすの印象は?」という質問を参加者にし、「楽しそう」「楽しそう」「怖そう」「大変そう」の4択による回答で体験前後の気持ちの変化について聞きました。皆さん気持ちの変化がそれぞれあり、気づきの場となることができました。また、最後に「この体験を通して困っている人がいたら声をかけようと思いますか?」という質問をしたところ、「はい」と答えた方が120名、「分からない」と答えた方が20名という結果となり、サポーターを増やす機会となりました。



事業所向け防災学習会 (11/28)



テーマ 『災害が起こったら、あなたはどのよう行動しますか?』

講師 認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード
常務理事浦野 愛氏

参加者 日中活動事業所、放課後等デイサービス、ヘルパー事業所
職員 34名

事業所で災害が起きた想定で、発災後の時間経過ごとにどのように行動するかという図上訓練を行いました。参加事業所からは「現在、事業所でBCPを作成しており、リアルに想定することができて良かった。」「イメージ作りが大事だと思った。自分の事業所でも見取り図を作り、発災後の行動を想定していくのが大事だと思った。」などの感想がありました。

エンジョイフェア (3/16)

会場をこれまでの熱田区役所講堂から、南養護学校に変更しました。会場変更による参加者への影響が気になりましたが、参加者数は約230名と昨年度より50名程増加。ポッチャ体験では、ポッチャを広めつながりを作る活動をしている“ひまわり”の皆さん他のご協力のもと、単なるポッチャ体験だけでなく、試合形式も取り入れ、勝ったチームに賞品を渡したことで、大いに盛り上がりました。他にも、南養護学校卒業生による和太鼓チーム“そらっ鼓”による和太鼓演奏や、日中活動事業所や放課後等デイサービスによる事業所紹介ブース、あったか販売、名古屋熱田ライオンズクラブ様ご協力によるスタンプラリーやマックスバリュ千年店様ご協力による大抽選会など、大盛況のうちに幕を閉じました。



事務局

熱田区役所福祉課

熱田保健センター保健予防課

熱田区社会福祉協議会

熱田区障害者基幹相談支援センター



問い合わせ先

熱田区障害者基幹相談支援センター

〒456-0022

名古屋市熱田区横田二丁目4番16号

TEL052-678-5505 / FAX052-681-7052